



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」

「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

「昔の人は凄かったんじゃないのか」

以前から「(今の)人間って、自然の力や昔の人の力をバカにし過ぎる所があるなあ」と思うことが何度かあった。

「世界の(あるいは日本の)七不思議」などという話を見たり聞いたり読んだりしたときに、そういうことを感じることが多い。

イースター島のモアイ像とかエジプトのピラミッドとかの話の中には「これほど巨大な岩を、当時の技術で移動させ、積み上げることは不可能……」などという当時の人を無能力者扱いするような記述が出てくることが多い。私は、思考方向が逆じゃないのかと思うのだが……。

当時の人は、巨大な岩や石像を遠くまで運んで建てたり積み上げたりする方法を知っていて、だから今、それが残っているんでしょ……今の自分たちにそれが思いつけないのは、当時の人より私たちの思考力が劣っているから……という考え方のほうが、私は現実の状況の説明としては筋が通っているように思えるのだが……。

「昔は劣っていて今は優れている」という考えを優先すると「当時の人間に、こんなことができるわけが無い」ということから「宇宙人が造ったのだ」などという話を作り出してしまおう。

まあ、それは、それで夢物語としては楽しかったりするが、何でも宇宙人の仕業にしてしまうのは、あまりに安易過ぎるんじゃないだろうか。

今、こんなことをネタに話を書き始めたのは、1ヶ月ほど前に兵庫県の加古川と姫路に挟まれる地域に仕事で出かけることがあり、その時に以前から気になっていた場所をJRで通過したからなのだ。

加古川までは新快速で行けるのだが、新快速の次の停車駅は姫路で、私の目的地は、それより手前だったので、加古川駅で快速(加古川からは快速も各駅に停車するので実質は普通列車)に乗り換えることになる。

加古川を出て最初の駅が「宝殿(ほうでん)駅」というのだが、ここが以前から気になっていた場所だったのだ。当日は仕事の目的地がさらに先なので通り過ぎるしかなかった。

ここが気になっていたのは「石の宝殿」というのがあって、それに関心を持ったシーボルトがスケッチを残しているというエピソードがあったりするので現物を見てみたいと思っているのだ。

ここ数年ではパワースポットブームで訪れる人も少し増えているとかいう話も聞くが、岩山の一部を垂直に掘り下げて巨大な岩の像が造られていて、それが「生石神社(おうしこじんじゃ)」の御神体になっている。

推定500トンの巨石で、しかも一見すると水面に浮かんでいるように見えるという代物。

実際には水中で地面と繋がっているのだが、「水に浮く500トンの巨石」というのは「御神体」としての資格は十分だろう。

しかも、削りだされた形が六面体では

無く一部に突起が造られていて、独特な形をしている。

その昔、テレビが昭和のアナログ放送の時代の「七不思議記事」の中には「現代の（ブラウン管）テレビの形とそっくり」ということで、「古代の人がテレビなど知るはずが無いから、未来人か宇宙人が造ったのでは無いか」などと解説している（いいかげんな）不思議本もあった。

その解説を書いた人は、その後テレビがデジタル化されて液晶テレビが当たり前になる時代が来るなどとは想像できなかったのだろう。その人が京都の神社仏閣の「七不思議」の記事を書いたら「京都中の参道の踏み石は、現代の液晶テレビの形とそっくりなので、これらの参道の床は未来人か宇宙人が造ったに違いない」とか書くのじゃないだろうか。

今の定説では「石の宝殿」は「造りかけの家型の石棺」とされていて、最終的には水面で下と繋がっている部分を切り離して90度起こして使うつもりだったのだろうと言われている。

それでも「500トンの巨石（巨大石棺）を運べるわけが無い」と言い続けている人も居るようだが、それより何千年も前にピラミッドやモアイを運んでいた人が居るのだから、500トンの岩一個くらい運ぶ方法は有るでしょう……それが思いつけないのは今の人が劣っているからでしか無い。

昨年後半頃だったか、テレビの番組で現代の若者にレコードプレイヤーとEP盤（ドーナツ盤）レコードを渡して再生させるというのをやっていたことがあった。

何人かはターンテーブルにレコードを置く事を知っていたが、33回転と45回転の切替を知らずスロー再生したり、EP盤に使うアダプターを取り付けることが分からず、中心のズレたレコード盤がターンテーブル上でウネウネ動いて針を下ろすことができないということになったりしていた。

それでも「音は、今のデジタルプレイヤーの方が良い（はず……）」と思っている人も居るようだが、レコード盤の溝には（再生可能かどうかは別にして）2万ヘルツを超える波数までデータ記録できていたりするので、規格として2万ヘルツ以上のデータを保存できないCDなどのデジタル機器より高性能なメディアということになる。だから、ここ数年はデジタル音響機器で「ハイレゾ」などと言って、アナログ時代のデータ量に近い規格を考えたりし始めている。

40年弱も前の経験だが、オーディオにのめり込んでいた知人の家でテクニートンというウーファからツイーターまでが階段状に配置されたスピーカーでレコードを聞いた時や、当時も絶滅寸前だったが「クラシック喫茶」でタンノイオートグラフとか言う畳を立てたようなスピーカーで「ツアラトウストラはかく語りき」のパイプオルガンの音を聞いた時は、けっこう衝撃的だった印象が残っている。デジタルプレイヤーで音漏れするほどイヤホンを鳴らしても、あの衝撃波体験できないと思える。

（高石 公資）

第7回京の公共人材大賞特別賞をいただきました

3月2日

京の公共人材大賞実行委員会主催

第7回京の公共人材大賞・発表と授賞式が行われこの度理事長南山勝宣が最終選考に残り、参加いたしました。そして結果は「選考委員特別賞」をいただきました。大変光栄に思います。これを励みにまたKSC Eの活動に邁進いたします。

また、今回参加された個人の部私を除いて7名と学生団体3団体の活動内容やプレゼンがとてもすばらしかったです。とても勉強になりました。いい経験の場となりました。ありがとうございました。



イベント紹介・報告

☆2018年12月29日 大清掃&忘年会
1年の総まとめという感じで皆で大清掃をしKSC内をきれいにしてすっきり！その後鍋を囲んでの忘年会を実施しました。13人の大勢での忘年会となりました。盛況でした。



☆1月12日学食 walk 京都大学北部食堂
今回は京都大学の理系学部のある北部の食堂に行きました。
お腹いっぱいです。おいしかった。

☆健康体操教室

1月16日・2月20日実施
運動・柔軟・ヒーリングを行っています。
一度体験してみてくださいね。
原則毎月第3水曜日14時半～行っています。

☆2019年1月4日 初詣
1年のスタートとして今年は平安神宮に行きました。個人的には・・・おみくじ中吉でした、ほっ。



☆1月10日 十日戎
商売繁盛の祈願ということで、京都糸苅す神社に参拝しました。塾部門個別教育予備校MESも含めて、当所を必要とする人がいるなら繁盛してもいいかなと。ご縁がたくさんありますように。

☆ものづくりかふえ

1月18日・2月15日実施
1月はビーズでいろいろ作るための初歩を試してみました。寄贈でいろいろといただいているのでビーズでもいろいろと作っていきたいと思います。2月は羊毛フェルトとフェルトで作品作りでした。



☆1月26日 LPW文化祭参加
高野教会にてLPWさんが実施されたLPW文化祭を見に行ってきました。当所以外の活動を見る機会は貴重でした。ありがとうございました。

☆1月27日 KSCEバザー実施
KSCE事務所で本や雑貨などのバザーを実施しました。まだ宣伝不足で来られる方が少ないですが時々実施して知名度を上げていきたいと思えます。

☆2月2日 出かけよう節分祭・豆まき
節分祭は吉田神社へ行ってきました。福豆購入とあわせての抽選券を3枚。結果は残念でした(笑)。夕方からは2人鬼役で豆まきと恵方まきを食べました。今年は東南東だったかな。よい年になりますように。



フェイスブックページ
<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

☆2月9日 体を動かそう スケート
京都アクアリーナへスケートをしました。なかなかうまく滑れなかった人もいますがいい経験でした。いい運動になりました。



☆2月16日 出かけよう
ロームシアター京都とみやこめっせ
この日に行われていた展示やウインターイルミネーション、京都マラソン前日ということもあって、その前日のイベントなども見てきました。



☆レク日
1月12日 19日 24日
2月7日 16日 23日 28日の実施でした。
レク日はどなたでも利用できるフリースペース開所日でTVゲームなどもできる日です。(内部生以外は利用料必要)

Twitter ID「ksceleader」
ブログ http://ksce.jpn.org/?page_id=1234

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。
E-mail の場合 soudan@ksce.jpn.org、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。
2019年3月4日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター